

国民のヘルスリテラシーと健康教育計画

1. 健康づくり政策の動向と課題 —米国のヘルスエデュケーターの動向を踏まえて—
2. 健康づくりのプログラム開発能力のブラッシュアップ
—QOL向上を目指した健康教育プランニング力のスキルアップ—

日時：10 / 13（日） 10時～17時

場所： 女子栄養大学駒込キャンパス3号館3階 3303教室

参加費：6,000円（事前申し込み必要）

公益財団法人 健康・体力づくり事業財団 健康運動指導士、健康運動実践指導者更新単位（講義6単位）

健康づくり政策の動向と課題 —米国のヘルスエデュケーターの動向を踏まえて—

講師 鈴木 紀秀（10時から13時）

米国の健康教育者（Health Educators）は医療機関、非営利団体、政府、診療所、民間企業、大学など、様々な環境で活躍しており、その平均年収は約500万円であり、今後も雇用は拡大傾向にある。雇用拡大の理由は健康教育者が、人々に対して健康的な習慣や行動や医療サービス等の利用の仕方等を提言することにより、人々の健康状態を改善し、米国医療の課題である医療費削減に貢献しているためである。このため、健康教育者には行動変容や健康教育プログラムの企画・実施・評価、不健康な行動の要因となっている環境や規制等への働きかけ、コーディネート等の役割が求められている。本講義では米国での健康教育者の活動状況等を紹介し、我が国の健康教育に求められる役割について学ぶ。

健康づくりのプログラム開発能力のブラッシュアップ

—QOL向上を目指した健康教育プランニング力のスキルアップ—

講師 大津 一義（14時から17時）

健康日本21（第2次）が進行中である。中でも、健康づくりのための行動をしない人に対し、行動変容を促しQOLを向上するための効果的な健康づくり支援プログラムの開発・提供と人材育成・確保が全ての自治体等に求められている。本講義では、今後の健康政策の方向を踏まえ、その人材育成として、健康教育者のプログラム開発力を高める演習を、生活の質（QOL）と社会環境の質の向上、KAPモデル、行動変容理論、Researchを含むPDCAマネジメントサイクル、6W2H、ライフスキル、ヘルスリテラシー、ソーシャルキャピタルなどの要件を含むプリシード・プロシードモデルを中心にして参加者の健康課題（肥満予防、喫煙防止など）に応じて行う。

申し込み方法

*公益財団法人健康・体力づくり事業財団健康運動指導士、健康運動実践指導者更新単位（講義6単位）

[オンライン申し込みはこちらから](#)

お申し込み後、詳細をお送りさせていただきます。

〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21 TEL:049-283-2317 E-mail: npohe@eiyo.ac.jp

女子栄養大学 発育健康学研究室内 NPO法人日本健康教育士養成機構健康教育士 研修係り

主催：NPO法人日本健康教育士養成機構 後援：一般社団法人日本健康教育学会、健康教育士の会